

稲葉山地区公民館

【事業名】 地域の仲間づくり事業 ～鳥取県立博物館のご協力を得て！～

【目的】 公民館事業のマンネリ化を打破する目新しいことを考えていた折、鳥取県博物館のアウトリーチプログラムの案内が目につきました。問合せをしたところ、いろいろな案内や提案をいただきました。27年度は、3つの事業で博物館とのコラボができました。

【事業概要】

7月3日 『地域でアート レオナルド・フジタ展』

地域の仲間が集まるいなばやま学級で「ポーラ美術館コレクション レオナルド・フジタ展」を鑑賞。33名が参加、素晴らしい作品を学芸員さんの解説と説明を聞きながら鑑賞した。のち、博物館併設のカフェ・ダールミュゼで評判のオムライスをいただいた。心もお腹も満たされた1日でした。

10月10日 『コラージュを作ってみよう！』

専門員の佐藤さん、山本さんの指導のもと公民館でコラージュ作りに挑戦。「コラージュって何？」専門員さんが持参した、たくさんのポスターを切り貼りして美術絵をまねて作品を作る。子どもさんも含め16名が参加。それぞれみなさんの個性が出た味のある作品が完成。自画自賛。(専門員さんからも褒められたよ!)作品は地区の文化祭や鳥取市公民館まつりにも出品しました。

10月31日・11月1日 『変わりゆく郷土 定点写真で見るとっとり』

稲葉山地区ふれあい文化じげ祭りの日程に合わせ、前後1週間の間「変わりゆく郷土 定点写真で見るとっとり 1968-2013」展を公民館にて開催。文化祭に来られた多くの方にみていただきました。みなさん、昔なつかしい風景に感慨深げでした。

【工夫した点と成果・初見・アドバイス】

和室での郷土写真展はやったことがないとのこと。展示方法などお任せではなく専門員さんと一緒に工夫しながら作り上げ、お互いに満足するものができることができました。今回は博物館とのコラボであったが、外部団体の力をかりる事業は、一方的にお任せでなくお互い協力して作り上げることが大切だと思いました。信頼関係が深まりお互いが満足できる結果が得られると思います。



レオナルド・フジタ展



コラージュを作ってみよう!



定点写真で見るとっとり